



なは・ゼロエミッションのまちづくり

那覇市ゼロエミッション推進室平成13年度事業

ゼロエミッションフォーラム開催

「ゼロエミッション」提唱者の国連大学と那覇市がフォーラムを開きます。県内の企業が協力して、「人と環境に優しい沖縄観光」とはどういったものか考えます。(2002年1月25日開催予定)

ロゴの公募事業

ゼロエミッションが目指す資源循環型社会を表すためのロゴマークを広くみなさまから募集します。

那覇市は「大量生産・大量消費・大量廃棄」の一方通行型社会から「適正生産・適正消費・ゼロエミッション」の資源循環型社会を目指します。

ゼロエミッション基本構想策定事業

資源循環型社会に向けての、那覇市の基本的な考え方や目指す方向性をまとめます。また、「ごみ」を出さなくても良い方法を提案したり、「ごみ」を材料にした新しい産業が生まれる可能性を調べます。

ゼロエミッションモデル事業

那覇市役所・商店街・学校区の中で、「ごみ」が資源化され循環するしくみをつくりま

第4回全国ゼロエミッション沖縄会議 地球環境基金とNGO・市民の集い

NGO団体「地球ネットワーク会議」、環境事業団、沖縄県、那覇市が開きます。市民と企業のみならず「沖縄発のゼロエミッション」をテーマに交流を行ないます。(2002年1月26日開催予定)

関係団体協議会開催事業

那覇市で生活する方や働いている方、学識者、市職員と広域市町村と一緒に話し合う場をつくりま

那覇市ゼロエミッション ロゴマーク募集

那覇市では、未来へつながら豊かな生活ができる都市を目指して、経済と環境が調和する循環型社会を創りたいと考えています。

そこで、未来のめざすべき社会のシンボルとなるロゴマークを募集いたします。

応募資格 沖縄県内在住者

応募方法 作品はA4サイズの用紙を使用してください。作品の裏面に住所、氏名、年齢、職業、連絡先を記入してください。作品についての簡単な説明(100字程度)もつけてください。1人2点以内の応募に限りま

応募締め切り 平成13年10月31日(当日消印有効)

審査 沖縄県内の有識者、専門家、市民を含む選定委員会にて審査いたします。

褒賞 優秀作品(1点)には賞金10万円、佳作(2点)は賞金3万円を授与します。

その他 ・入選作品の著作権・使用権の一切の権利是那覇市に帰属します。
・入選作品については、必要な修正を行なうことがあります。

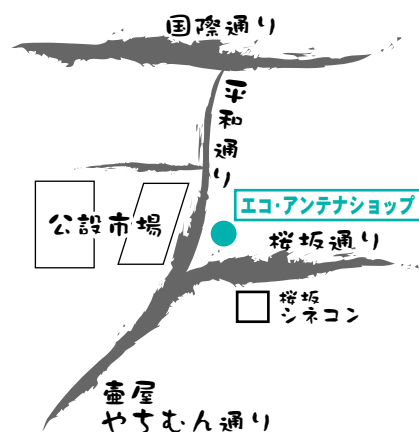
ご応募先・お問合せ先 ゼロエミッション推進室

〒900-8585那覇市泉崎1丁目1番1号(那覇市役所本庁5階)

☎:(直通)861-3244 FAX:861-5082



「エコ商品を使いたいけれど、どこに売っているの?」「ごみ分別の仕方がわからない」...そんな市民のみなさまの声にお答えします。
平成14年3月まで、平和通り商店街にエコ・アンテナショップを開店します。
海外や県内のエコ商品の展示や販売。家庭用生ゴミ処理機の展示。市長をパネリストに迎えた路上討論会など。
市民のみなさまに「快適エコライフ」をご提案いたします。オープンの際には、エコ商品のプレゼントもあります。



お問い合わせ
ゼロエミッション推進室
☎861-3244

エコ・アンテナショップ
近く「平和通り」にオープン!!



八月末から、心ならずも入院というところで、とくに九月市議会の最中で、後半から復帰したとはいえ、市民の皆様、市民代表である市議会議員の皆様には多大なご迷惑とご心配をおかけいたしました。入院でスリムになりましたが、今後は健康に留意しつつ行政運営に努めます。心のこもった数々のお見舞いに対しましてお礼を申しあげます。

「那覇市重要政策マネー・ジメントシステム」ということで、49項目の課題に取り組みます。家計に例えてみるとわかりやすいのですが、お兄ちゃんパソコンが欲しい、娘さんはミステル

時間の延長などが含まれています。また、国際通りの活性化などについても触れています。なによりも市民サービスの向上に心がけます。

総務部市長公室

那覇市重要政策マネー・ジメントシステムの導入について

那覇市は49項目にわたる改革を行います

那覇市が新たに取り組みを開始する49項目ですが、まずは市役所内部からということで、「給与制度の見直し」などを断行します。また、数多い業務の中で、民間でできることは、民間のお力を活用したいと考えています。ややもすると役所仕事にありがちな、官が上で民が下という風潮を一掃しなければなりません。また、市民の皆様がご利用しやすいように本庁の市民部門でのサービス

翁長雄志市長が第28代那覇市長に就任してから、およそ10か月が経過しました。この間にはいろいろな出来事がありました。なかでも世界中を震撼(しんかん)させたニューヨークの世界貿易センターなどに対するテロ攻撃は世界中の人々に大きな傷として残りま

ンサートに行きたい、おばあはたまには沖縄芝居も見たい、お父さんは小遣いがもう少し欲しい、お母さんは最近では新しい服を買っていない、などです。時々家族そろってファミリーレストランで食事してみたい。

そのためには家計をやりくりして見る必要があります。